

【二大事業】エコチル調査に関する事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	国内で唯一の Human Biomonitoring 相当調査として、10 万組親子の長期モニタリングを計画通り進め、PFAS を含む社会的関心の高い課題で成果（論文化・政策参照）を着実に創出している。	今後も計画に沿って着実にデータの収集を進め、エビデンスの創出に努めてまいります。
	成育医療センター等との連携・分担体制を維持しつつ、データセット整備や参加外研究者へのデータ提供開始など、利活用促進に向けた取り組みが進展している。	引き続き国立成育医療研究センターをはじめ、全国の大学に設置されたユニットセンターとの連携により研究成果の最大化に努めます。
	PFAS の研究結果を踏まえ、健康影響に関する提言（リスク管理に資する具体化）までどこまで踏み込める見通しか。	PFAS に関わる研究成果についてもエビデンスを更に創出し、健康影響に関する提言に資する情報として提供できるよう努めてまいります。
今後への期待など	ノンターゲット分析等により新規／未知化学物質の検討も進め、PFAS 以外も含む課題対応力を高めてほしい。	大規模疫学研究において合理的な新規／未知化学物質に関わる分析方法の検討も進め、引き続きエコチル調査からのエビデンス創出に努めるとともに、倫理的な課題や個人情報に配慮しデータ利活用の推進について努めます。
	データ共有は困難が大きいが、管理・構造化・User Interface・安全性を整えつつ、国内外に向けてデータ共有をより積極的に推進してほしい。	引き続きデータ共有が活発に行えるよう体制づくりを強化してまいります。国際的な活用についても情報を提供いただいた参加者からの同意の範囲内で利活用できるよう進めます。
	PFAS の化学形態を踏まえた影響解釈の深化や、双子・同一母からの複数児など貴重サンプルの活用、4 歳以降・流産等も含む追跡を進め、国際的価値も高めてほしい。	PFAS に関わる研究成果について 4 歳以降のアウトカムとの関連等についてのエビデンスの創出にも努め、健康影響に関する提言に資する情報として提供できるよう努めてまいります。同一の母親から出生した複数児や双子などを対象とした分析についても検討を進めてまいります。

【二大事業】エコチル調査に関する事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	第5期を通じて大規模長期出生コホートとして計画的にデータ・試料を蓄積し、多数の学术论文（400報超）や人材育成に貢献した点は極めて高く評価される。	引き続き計画に沿って着実にデータの収集を進め、エビデンスの創出に努めると同時に、それらを通じての人材育成やデータ利活用の推進に努めてまいります。
	PFASを含む多様な化学物質の健康影響解析や追跡期間の40歳までの延長など、国際的にも希少性・学術価値の高い研究基盤を確立している。	計画に沿って着実にデータの収集を進め、エビデンスの創出に努め、事業の継続意義を失うことがないように努めます。PFASに関わる研究成果についてもエビデンスを更に創出し、健康影響に関する提言に資する情報として提供できるよう努めてまいります。
今後への期待など	不確実性を前提とした知見の社会的翻訳と、意思決定レイヤーの整理が今後重要となると考えられる。	不確実性を前提とした疫学研究についての研究成果の発信におけるリスクコミュニケーションのあり方についてはご指摘の通り大きな課題となっており、エコチル調査からのエビデンスを活用する行政当局とも連携して検討を進めてまいります。
	長期追跡データを活用し、因果関係の解明や政策・健康対策へのフィードバックを進めることを期待する。	引き続き計画に沿って着実にデータの収集を進め、エビデンスの創出に努め、因果関係の示唆を含む健康影響に関する提言に資する情報として提供できるよう努めてまいります。
	次世代影響や新規化学物質への対応を含めたフォローアップを期待する。	今後の展開における次世代影響についても環境省の基本計画に反映されるよう議論を進め、国民の健康や環境保健政策に貢献できるよう努めます。